



第 2560 地区ガバナー

……………原 信一
会 長……………佐野 勝 栄
会長エレクト……………渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
副 会 長……………小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
幹 事……………荻根沢隆雄
S A A……………杉 山 幸 英
会 計……………渋谷 正 一

例 会 日……………毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び……………三条市旭町 2 - 5 - 10
事 務 局……………三条信用金庫本店内
例 会 場……………TEL 35 - 3311
事 務 局……………TEL 35 - 3477
FAX 32 - 7095
E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp
web: http://www.soho-net.ne.jp/ rotary/
(は shift を押しながら“へ” のキーを押してください)

本日の出席会員数	65名中53名
先々週出席率	85.71%

先週のメイクアップ

10/28 田上あじさいへ
加藤紋次郎さん 松谷昊吉さん

10/30 妙高高原へ 加藤紋次郎さん

11/1~2 地区大会(新潟)へ 32名

藤田説量さん 細井増雄さん 吉井俊介さん
佐野勝栄さん 会田二郎さん 山田富義さん
明田川賢一さん 船越正夫さん 広岡豊作さん
石橋育於さん 石月良典さん 川瀬康裕さん
熊倉昌平さん 小出子恵出さん 中村和彦さん
成田秀雄さん 西山徳厚さん 小越憲泰さん
小柳直人さん 斎藤弘文さん 佐藤 武さん
渋谷正一さん 清水良一さん 杉山幸英さん
橘 直樹さん 高橋 司さん 高森章仁さん
渡辺喜彦さん 荻根沢隆雄さん 五十嵐浩さん
五十嵐昭一さん 五十嵐寿一さん
11/4 三条北へ 松谷昊吉さん

会 長 挨拶



佐野 勝 栄 会長

皆様こんにちは、先日の 1 日、2 日の地区大会では地区役員の藤田さんを始め、大勢のご参加ありがとうございました。2 日目は朝早くからの出発で帰りは午後 7 時半頃までの休日無給出勤の上、サービス残業までして、さぞやご参加の皆様はお疲れの事と思います。ご苦労様でした。

今日は、クラブ・フォーラムで地区大会報告との事ですが、その前に昨年度まで会員でした樺山 仁さんの奥様が亡くなりました。樺山さんは皆様もご承知の通り、ロータリー活動に一生懸命でしたし、強い愛着を抱いていらっしゃいました。けれども、奥様の介護の為やむを得ず退会されました。丁度 1 日、2 日が葬儀であり、渋谷正一さんをお願いしてお悔やみを申しあげました。あらためて、ご冥福をお祈りします。

さて、1 日目の地区大会ですが、RI 会長代理として RI

理事の田中作次ご夫妻ご臨席の元で本会議が開催されました。田中さんは栃尾市の出身で現在埼玉県八潮市にお住まいです。歯切れの良い話口で、まさにロータリーに生きがいを感じている様な人に見受けられました。そして、1日目の講演会は日本の環境問題の第一人者である東京大学教授の山本良一先生の「地球環境と経営調和 1秒でこんなに変わる世界の中で -」のテーマでお話になりました。現代の「無門関」のテキストとして出版されたこの「**1秒の世界**」の著書は民間企業の寄付により、全国4万校の小学校へ寄贈したそうです。1冊1000円で販売していましたので、購入してきました。冒頭のさわりの箇所を読んで見ます。

**世界は刻々と変化している。
あなたがお茶を飲み、空を見上げ、となりの町へ移動している間に、森林が消失し、氷河が崩れ落ち、大量の資源が消費されている。
この世界のあらゆるものは、とどまることなく変化している。
その巨大な変化を、1秒でみってみる。1秒とは、まばたき1回、まさに一瞬。
私たちにとって望ましい変化も、望ましくない変化もある。
ミミズが食べる土の量、飢えて亡くなる人の数、砂漠が拡大する速さ、
すべての数、すべての変化がいまこの瞬間のあなたへとつながっている。**

2日目の講演は宇宙飛行士 毛利 衛氏の「宇宙の地球人としての私たち」というタイトルで講演を戴きました。講演には県内小中学生1000名余りを招待し、毛利さんからさまざまな質問が出ましたし、又子供達からも活発な意見や疑問を聞いていました。三条市内の小学生47名を引率していただいた、橘さん、田中さんご苦労様でした。さっそく、小学生からお礼のハガキが届いています。

各委員会の事はこの後参加された人に詳しく報告していただく事にして、表彰式において昨年度実績のクラブ表彰、佐野 孝ガバナー賞、ロータリー財団達成優秀クラブ賞、米山奨学達成優秀クラブ賞といずれにも我がクラブにはお呼びがなく、前後に座っている第4分区の燕、三条南、三条北が壇上での表彰をうらめしく見ておりました。唯一救いだったのは、**小出会報委員長、成田さんなどの懸命な取り組みのお陰で今年度の7月から9月までのクラブ会報賞で原ガバナーより、努力賞を戴いた事です。**次年度はぜひクラブ表彰などいただきたいものです。



幹事報告

荻根沢隆雄幹事

国際ロータリー日本事務局より ロータリー適用レート変更のご案内が届いております。
11月 1日より 1ドル 現行 116円 110円

ニコニコBOX

佐野勝栄さん

11月1日、2日の地区大会には大勢の皆さんのご参加を頂き有難うございました。

荻根沢隆雄さん

地区大会が終わりほっとしております。また、毛利さんの講演会に子供たち47名も招待出来ましたこと御礼申し上げます。

杉山幸英さん

第41回技能五輪全国大会で社員が入賞致しました。

藤田説量さん

地区大会でお世話になりました。

渡辺喜彦さん

先日の地区大会、参加されました方々お疲れ様でした。すばらしい天候に恵まれ、毛利さんの講演もすばらしかったです。

広岡豊作さん

地区大会に出席しました。原ガバナーの「人の上に立つ人」の真摯な姿に感動しました。

会田二朗さん

新潟での地区大会で多く学ぶことが出来ました。有難うございました。

五十嵐昭一さん

地区大会ではいろいろ勉強になりました。

野水文治さん

久々に旅行に参加して。

中村和彦さん

旅行の写真有難うございます。都合により早退させていただきます。

齋藤真澄さん

白骨温泉のすばらしいお湯に入り、紅葉もすごくきれいで気分がリフレッシュしました。

船越正夫さん

15、16日の白骨温泉の旅は上高地の素晴らしい紅葉に恵まれ最高の旅でした。石塚さん卓話ご苦労様です。

石塚欣司さん

11月3日の文化の日に子供から良い話がありました。

五十嵐寿一さん

長男、次男夫婦に子供が生まれ、孫が4人になりました。

細井増雄さん

3日の「ごぼさま寄席」大盛況でした。金馬師匠をお迎えして、私のリクエストで人情話をみっちりやっていたいただきました。大変喜ばれました。

平原信行さん

日本の世界遺産が11ヶ所登録されていますが、現在行っているところが9ヶ所、今年に入って9月に白神山地、10月に屋久島を巡り、11ヶ所制覇しました。

小柳直人さん

石塚さん、卓話無理申しましてすみません。よろしくお願いします。

松谷昊吉さん、高森章仁さん

石塚さんの卓話楽しみにしています。

11月5日分 ￥ 30,000

今年度累計 ￥ 415,000

11月1日(土)地区大会報告

西山徳厚会員

国際奉仕 新保委員長から報告がありました。

7月12日 長岡商工会議所で国際フォーラムの開催を致しました。

新発田 RC 提唱のタイ国タンヤラック財団及びブーレン公立病院への医療機器贈呈プロジェクト(わが三条東地区は1000ドルを寄付しました。) 11月4日バンコク市において贈呈式が行われました。

友情交換 18クラブの成果を上げました。

青少年交換 今年から単独で派遣2名・受入4名計6名でした。来年度は6名の予定です。

以上の報告がなされました。

卓話



企業倫理について

石塚欣司会員

はじめに

職業奉仕の小柳委員長と同席であったことから、企業倫理について卓話をせよといわれ

て、良く分からないまま、あいまいに引き受けてしまったのですが、よくよく考えてみたら、錚錚たる経営者の集まる中で経営音痴の私ごときが卓話などできるわけがないと小柳委員長にお話したところ、普段やっていることを話してくれば良い、とのことであった。

しかし、今やっている仕事は、企業倫理に関係するところが薄い仕事なので、私の公務員の現役時代、「人権擁護」及び「国の訴訟」の仕事をやっていたときのことを一つづつお話して責任を果たしたいと思いません。

(1) 部落地名総監事件について

この事件は、昭和40年代後半に発覚したと記憶していますが、企業が採用に際し、同和地区(被差別部落)出身者を「部落地名総監」という本を購入し調べていたというものです。

言うまでもなく、部落差別は封建時代に政策的に作られたいわれもない差別であり、決して許されるものではありません。それを商売にしようとして本を作った者はもちろん、それを利用して差別をした企

業も世間の糾弾を受け、また法務省の人権擁護機関の厳しい調査と勧告を受けることとなり、企業イメージを大きく損ないました。

(2) スモン訴訟について

スモンとは、1955年頃から全国各地で下痢、腹痛から始まり下肢麻痺などの知覚障害、激痛を伴う歩行障害、神経萎縮による視力障害などを呈する原因不明の疾病が発生し、1965年頃からは全国各地で集団的に発生するようになった病気です。当初はウイルスを疑っていましたが、1970年整腸剤として使われていたキノホルムが原因と発表され、キノホルム剤の販売・使用中止の措置と共に劇的に減少し数年後に終息したものです。患者数は11,000人余、そのうち6,000人余が製薬会社及び国を相手として訴訟を起こし、最後は裁判所の勧告を受けて患者側勝訴の内容でほぼ全員が和解をしました。

(3) 企業は、営利を追求するのが目的で作られています。しかし、営利が目的だからといって倫理に反する行為をすれば、社会的な非難を浴び企業イメージが大きく傷つくことになり、企業の業績にも影響が出ることになりましょう。倫理を超えればこれは犯罪であり、その企業は場合によっては産業界から去っていかなくてはならないでしょう。最近業界のトップ企業がこれまでのブランド名を使えなくなったのを目の当たりにすると、倫理観の欠如は大変重要な結果をもたらすものであることを痛感します。

終わりに

企業経営は企業倫理に裏打ちされたものでなければならぬとおもいます。スモン訴訟で和解し大変な和解金を支払った製薬会社は、その教訓から社内が締め、業績が上がったと聞いています。どうか企業倫理に基づいた企業経営態勢を確立し、ますます営業成績を上げられるよう願っています。





次週例会 11月26日(水)「新世代のための月間」ライラ研修報告
三條RAC 丸山正孝さん・佐藤俊光さん

次々週例会 12月 3日(水)総会 会員卓話

